

平成 28 年度事業報告書

(概 要)

雇用情勢の好転による社会経済が伸びを見ている一方で、私たちの日ごろの生活の中では景気回復を実感出来ずにいます。これは、一般家庭における消費が思うように増えていないことから推測されます。

センター実績においても、企業、個人家庭からの受注が前年度を下回る数値となっています。シルバー就業へのニーズは、経費の圧縮を目的とした生産効率を高める継続的な就業への要望が高く、就業の適正化の面からもミスマッチが生じる傾向が否めません。個人家庭からの受注状況を見てみると、1 件当たりの契約単価が減少しています。

総務省の 2060 年予測では、65 歳人口が約 40%に迫り、経験したことがない少子高齢化が進むことにより、労働者人口が大幅に減少することが見込まれている中、新規会員の入会促進や、新たな就業の場の開拓など、課題は山積されている状況にありますが、公共事業や一部の事業所では、シルバー派遣事業へのシフトが進み、会員の就業の場の拡大や就業の適正化に大きく貢献しています。

平成 28 年度の事業の詳細について、以下の資料をもって報告いたします。